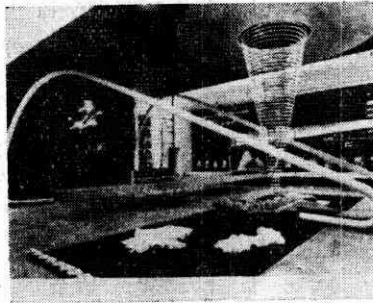


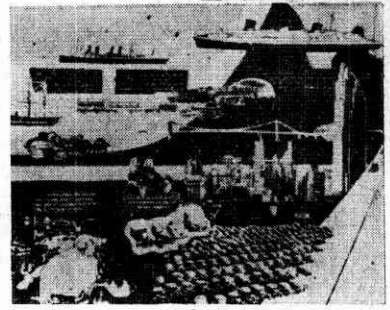
技術史ノート

展示技術の進展

生産技術史研究室



第1圖



第2圖

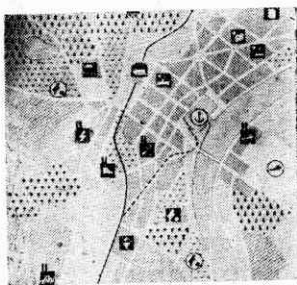
明 1951 年 London に開かれる Festival of Britain は Crystal Palace に發生した博覽會の 100 年を記念したものである。博覽會あるいは展覽會のこの世紀の進展ははなばなしいものがある。元來博覽會は單に一つの藝術的表現ではなく、その直接の目的である觀者へのよびかけとか産業の振興文化の向上、あるいは社會的啓蒙等の使命はその表現形式に擔はれている。その展示技術は單にそのような理念を表出するに止まらず、その印象を強く與え、心理的關心をその面に向けさせるとともに、理解と共感とを起させねばならない。そのためにこの技術は有能な幾多の建築家、彫刻家あるいは産業美術家の綜合的協同によつて新しい分野を開拓してきたのである。そしてこれ等の働きは次の特長によつて代表されるであらう。

●三次元（四次元）展示による高度の體驗と認識

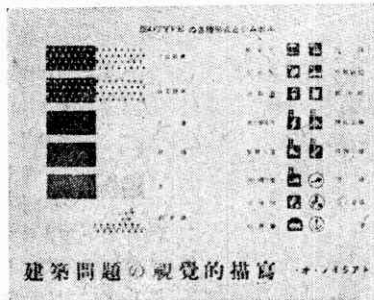
壁面に畫かれた展示——それは額縁に容れられた繪畫であり視覺的認識を抜け得ないものである。三次元への新しい空間構成は視覺・觸覺あるいは水平、垂直、斜面の運動、曲線的なものの平衡感覺によつてより高度の理解を與えてくれよう。（第1圖）は 1940 年 Napoli Triennale における電氣商品の展示であるが近來の展覽會の室内ではさらにすべての展示品が動きと變化を持つように提案されている。また動力、照明、幻燈、氣體等の綜合的利用は空間構成の四次元的處理を可能ならしめる。たとえば Sky Lighter のような複雑な空間體驗の處理は科學的なものの特權ではなくてわれわれの有する生物學的機能である。

●Isotype による視覺的單純化。（第 3, 4 圖）

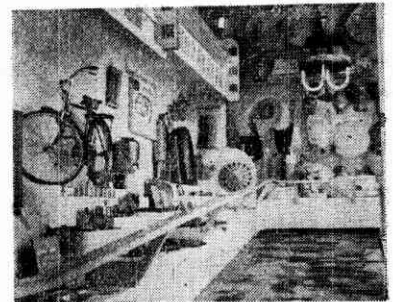
Dr. Otto Neurath によつて開發された Iso type (International System of Typographic Picture Education)



第3圖



第4圖



第5圖

は圖表・模型・寫眞・映畫等の視覺的統一をはかることが主要目的で一つの idea を表現するために象形繪文字を利用する視覺的援助手段である。新しい都市計畫や設計家屋の重要性についても單なる floor plan と寫實的な描寫に止まらず、一般の社會狀勢とか人々の移轉等主なる調査事項を理解せしめる。

●寫眞による創造（第 2 圖）

機械の design が寫眞の協調を第一義的に發展してきたことはいうまでもないが mechanical design の感覺は寫眞のみが表現し得るものである。寫眞は寫實的な像を現わしてもつとも容易に了解され、實在する illustration の限界を擴大し得る。元來展示は立案者の idea を單的にしかも明瞭に傳達しなければならない。Photomontage は現實の視野を擴大し單獨な畫面よりずつと力強い効果を以ていろいろの面を持つ統計物の統一を計ることができる。

●日本のコマ式展示法（第 5 圖）

以上の展示技術の進展に逆つて現在日本の博覽會における展示の主流をなしているのは間口 6 尺、奥行 4 尺、高さ 2 尺 5 寸の展示臺を單位とするいわゆるコマ式展示法である。その扱い難い無根據なコマを尺度として出品が勧誘され出品料が支拂はれ、何十年變らない裝飾方法が繰り返されているのである。このコマが使用できない出品物に對しては 6 尺×4 尺の土間が與えられ裝飾屋は高さ 8 尺の衝立をその周圍に張りめぐらしてその出品を圍つてしまう。

この「ハリボテ」の展示方式はちようどノゾキカラクリから見られる物語と映畫劇場の椅子に腰かけて見る物語との差をはつきりと意識させるのである。（小槻貫一）

(1950・7・23)